

# 松浦佐用姫の像や画

分野 歴史

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

松浦佐用姫に関する、像や画があちこちにある。ここでは、その一端を記すことにする。

## ■赤水(あかみず) 観音堂

唐津市鏡、鏡山登り口の朱色の大鳥居より、10メートルほど登った右手の石段の上。佐用姫と狭手彦の位牌。金泊の観音様2体。木像の観音像2体。

## ■狭手彦が持ち帰ったとされる仏像

鏡の恵日寺にあり。

## ■高さ14メートルの真っ白な佐用姫像

巖木道の駅、風のふるさと館横にある。平成8年3月、回転式にて、15分で1回転する。

## ■松浦佐用姫の生誕記念碑

巖木瀬戸木場

## ■松浦佐用姫伝説発祥の地

浜玉町座主、川上神社内。この神社には、佐用姫伝説にまつわる「根木(ねぎ)観音像」がある。

## ■呼子町加部島佐用姫神社

呼子の田島神社境内にあり、石なつたとされる望夫石(ぼうふせき)や「佐用姫像画」がある。

## ■伊万里市山代町浦之崎

佐代姫塚と佐代姫神社

## ■唐津市鏡山山頂に「唐津焼の佐用姫立像」

昭和9年4月中野霽林作。昭和7年市制記念のためと思われる。

## ■加部島天童山(岳)の「唐津焼の佐用姫立像」

これは同じく中野霽林作で昭和10年。大きさ7尺。鏡山と同じで、つまり2体作っている。

## ■博多人形師、井上あき子作「佐用姫の博多人形」

唐津市内の開花堂、高さ30cm。

## ■成富宏作「銅像の佐用姫立像」

呼子町加部島の佐用姫広場。ブロンズ像、1.5m。

## ■唐津市近代図書館「松浦佐用姫像」

平成2年2月、博多人形師宗田源蔵作。1.2m、唐津レインボーライオンズクラブ制作依頼。

## ■田島神社の掛け軸「佐用姫」

米邦作。等々

以上、郷土の佐用姫は、なんと“古の日本第1級のヒロイン、有名人”であった。

このヒロインの出現は、古代より、この松浦の地が、景勝と人情とそして大陸との交通の要衝の地であったことにほかならない。

今後とも、松浦佐用姫は、この地の誇りとして、広く人々に語り継がれるであろう。

◎引用・参考文献(出典)

◆『松浦佐用姫と大伴狭手彦』  
荻野忠行著 P45

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)